

<あとがき>

2017年度は核軍縮にとって本当に大きな動きが続いた一年であった。7月の核兵器禁止条約の採択、核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）のノーベル平和賞受賞、トランプ大統領下でのアメリカ核態勢の見直し（NPR）の公表、そして朝鮮半島の非核化をめぐる事態の急展開などである。正直なところ、RECNAも「振り回され」「ついていくのが精いっぱい」という感すらもあった。RECNAとしてもモニタリングを続け、積極的に情報発信を行ってきたが、しばしば我々の予想を超えるような進展に、分析・研究が追い付かないという事態も発生している。RECNAの使命として、単なる情報の収集と発信だけでなく、学術機関に相応しい結果を出すことも重要だと言わなければならない。

2018年度は、朝鮮半島やイランの非核化をめぐり、すでに大きく事態が動く兆候が見えている。また、核兵器禁止条約の批准の進み具合も目を離すわけにはいかない。また、長崎大学としては、新設された大学院多文化社会学研究科に、核軍縮・不拡散専攻の初めての学生を迎えている。核軍縮・不拡散分野での専門知識を持った人材の育成という新しい試みである。

研究、教育、情報発信、ますます変動する世界の中で、RECNAはこのような責任を一つ一つ果たしていかななくてはならない。

広瀬 訓（RECNA副センター長）

長崎大学核兵器廃絶研究センター年報2017

2018年4月30日発行

発行所 長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)
〒852-8521 長崎市文教町1-14
電話: 095-819-2164 FAX: 095-819-2165
E-Mail : recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp
<http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

印刷所 株式会社インテックス
〒850-0046 長崎市幸町6-3
電話 : 095-826-2200